

発達段階のステップを意識した 効果的な省察の工夫

第3, 5学年の実践を事例として

秋田大学教育文化学部附属小学校
体育科 伊藤 敏幸 佐藤 秀恒

発表内容

- 1 体育科研究テーマ課題
- 2 体育科の研究の重点
- 3 各学年の実践
第3学年 「ソフトバレーボールを基にした易しいゲーム」
第5学年 「ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲーム」
 - (1) 実践の概要
 - (2) 重点1に関わる手立てと子どもの姿
 - (3) 重点2に関わる手立てと子どもの姿
 - (4) 成果と課題

1 体育科研究テーマ・概要

研究テーマ

自他の心身と向き合い、
考えながら動きを見いだす
子どもを育む学び

1 体育科研究テーマ・概要

昨年度の実践の課題

- ①タスクゲームや作戦、活動の場などの
選択肢の提示の仕方
- ②省察を通じた発達段階に応じた練習の仕方、
場、作戦の選択・決定の場の工夫

2 体育科の研究の重点

重点(1)

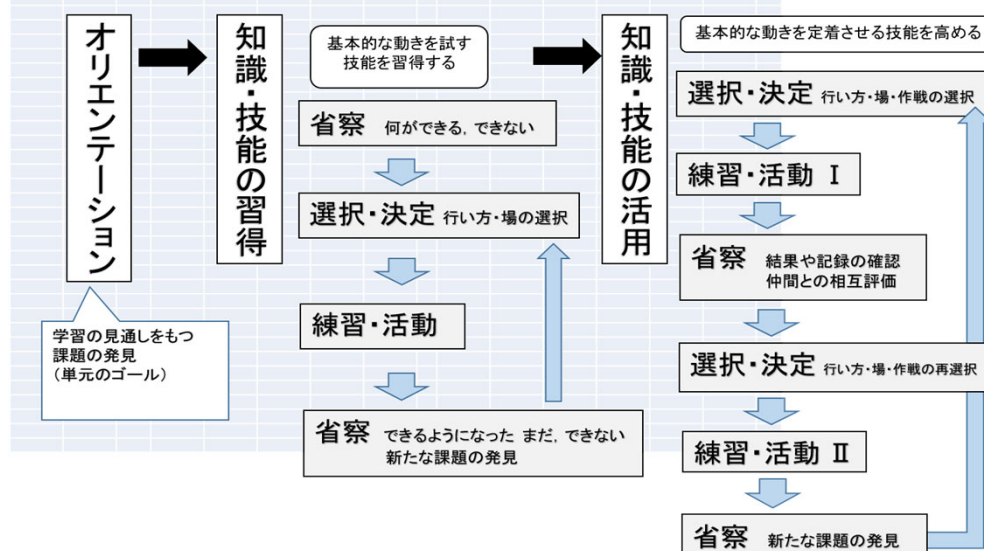
動きのこつに着目して、仲間との関わりの中で活用しながら、課題解決に向けて選択・決定する学習を位置付けた単元構成の工夫

重点(2)

運動を通して身に付けたことを次の課題へつなぐ発達段階のステップを意識した効果的な省察の工夫

2 体育科の研究の重点

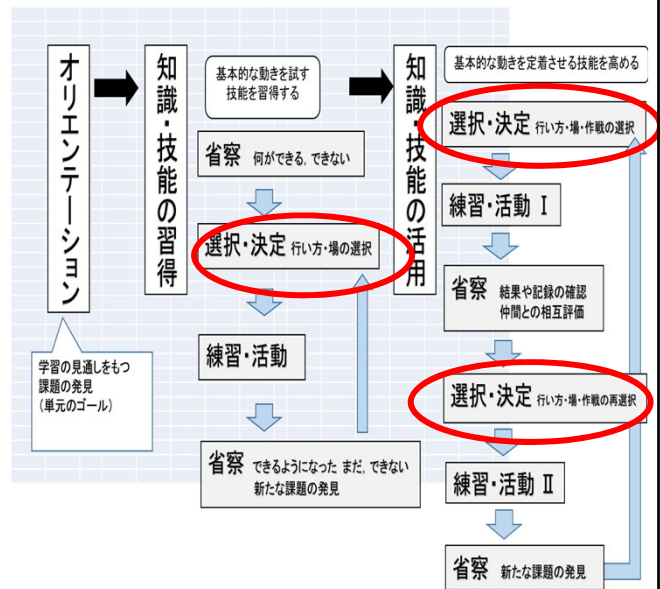
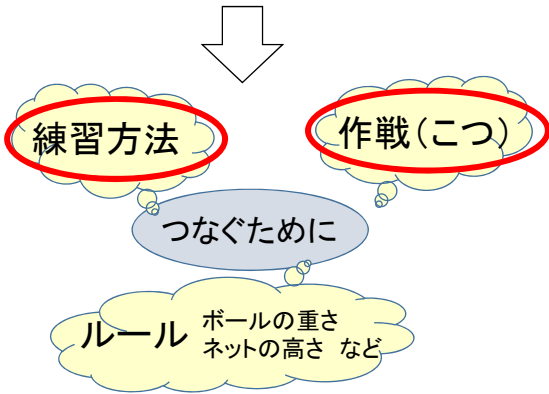
体育科学習のプロセス



2 体育科の研究の重点

重点(1)

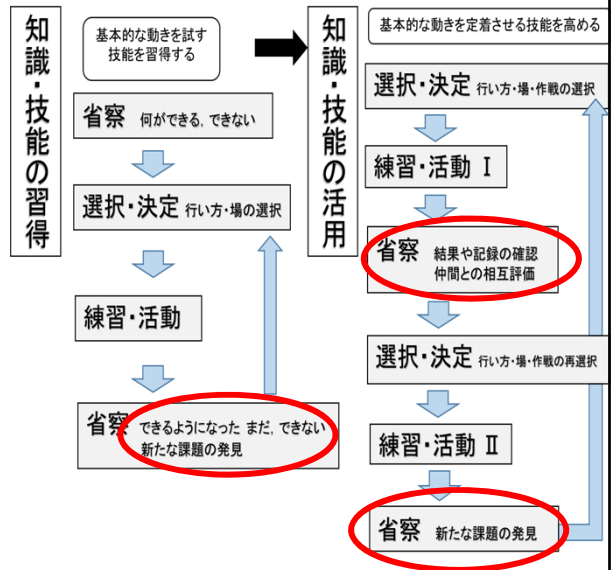
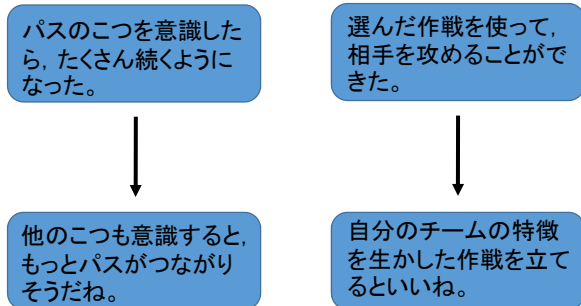
動きのこつに着目して、仲間との関わりの中で活用しながら、課題解決に向けて選択・決定する学習を位置付けた単元構成の工夫



2 体育科の研究の重点

重点(2)

運動を通して身に付けたことを次の課題へつなぐ発達段階のステップを意識した効果的な省察の工夫



第3学年の実践 ～実践の概要～

単元名

仲間とつないでつないで、連続パス！！ソフトバレーボールを基にした易しいゲーム
(総時数8時間)

本単元で育む主な資質・能力

仲間にボールをつなげるために、ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に体を移動したりする。

第5学年の実践 ～実践の概要～

単元名

仲間とつないでラリー！ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲーム
(総時数8時間)

本単元で育む主な資質・能力

相手コートへの攻撃につなげるために、ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動したり、味方が受けやすいようにボールを操作したりする。

第3学年の実践 ～実践の概要～

本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」

ボールの操作やボールを持っていない動きに着目し、自分やチームの課題を見付け、解決方法を考える。

第5学年の実践 ～実践の概要～

本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」

ボールの操作やボールを持っていない動きに着目し、自分やチームの課題を見付け、解決方法を考える。

3年生の実践

本単元の学習の流れ

1時間目 : オリエンテーション, 試しのゲーム(省察)

2から6時間目 : 知識・技能の習得
タスクゲーム(省察), 確かめのゲーム(選択・決定)

7・8時間目 : 知識・技能の活用
ゲーム大会(選択・決定), 仲間との相互評価(省察)

1単位時間の学習の流れ

1. 準備・体操
2. はじめの連続パス
3. タスクゲームの確認
4. タスクゲーム
5. こつの記入・確認
6. おわりの連続パス
7. 片付け・振り返り

(2) 重点1に関わる手立てと子どもの姿

手立て: 確かめのゲーム・ゲーム大会での作戦の選択・決定

- ・タスクゲームから見付けた こつ を作戦とする
- ・確かめのゲームやゲーム大会で使う作戦(こつ)をチームで選択・決定する
- ・その作戦を意識して, 確かめのゲームやゲーム大会を行う

確かめのゲームでの作戦の選択・決定①
(3時間目:オーバーハンドパス)

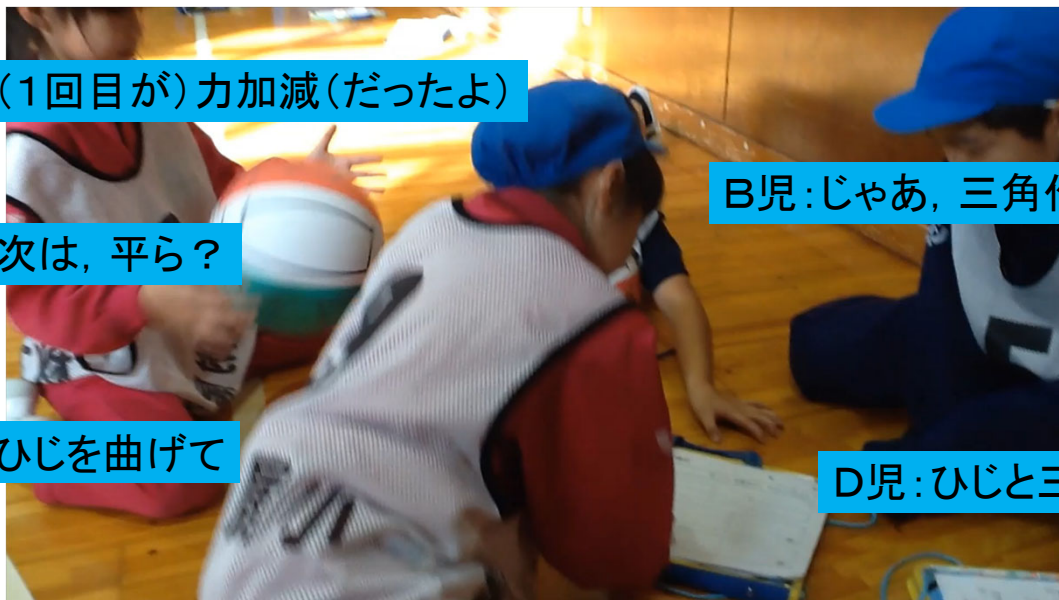
A児:(1回目が)力加減(だったよ)

B児:次は, 平ら?

C児:ひじを曲げて

B児:じゃあ, 三角作る

D児:ひじと三角



確かめのゲームでの作戦の選択・決定②
(6時間目:すべてのパス)

A児:山なり

B児:ボールを
高く上げて

B児:ヒューって

C児:ひざを
準備して



第5学年

本単元の学習の流れ

1時間目 オリエンテーション 試しのゲーム

2～4時間目 知識・技能の習得

ボール操作の技能そのためのこつ

5～7時間目 知識・技能の活用

戦術的な動きそのためのこつ

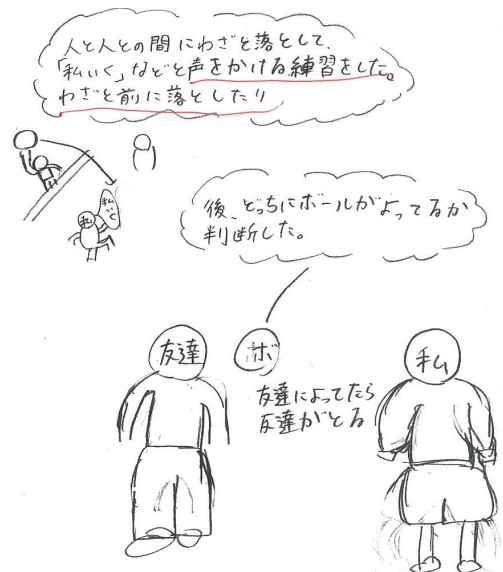
8時間目 試合 仲間との相互評価

	2～4回目	
	パスやゲームをくり返し、自分やチームのよさや課題を見つけよう。	
学習内容	1. 準備・体そう 5分 2. ボール操作の練習 5分 3. タスクゲームの確にん 5分 4. タスクゲーム 20分 5. 確かめのゲーム 5分 (作戦を選んで) 6. 片づけ、ふり返り 5分	

(2) 重点1に関わる手立てと子どもの姿

第5学年

人がいないところ、人と人の間に
ボールがおちるのを防ぐには
(4時間目 課題に対する練習方法の選択)



(2) 重点1に関わる手立てと子どもの姿

パスをつなぐために一人一人がどの位置にいたらいいか
(5時間目 戦術としての配置の選択)

足が速い〇〇君は



後ろは？

ボールまわしのうまい〇〇君が

(3) 重点1に関わる手立てと子どもの姿

3回目のパスをネットの近くで打ちやすくするには
(7時間目 課題に対する動きやその練習方法の選択)

後ろから前へつなげばいいんじゃないか。

相手から来たボールを1の人がポーンと。次に2の人がキャッチしてこちら辺にパスを出せば。



3回目のパスをネットの近くで行うためには
(7時間目 課題に対する動きやその練習方法の選択)



(2) 重点2に関わる手立てと子どもの姿

手立て1: 試しのゲームで何ができる, できないを知る省察

- ・1時間目のオリエンテーションの後に, 試しのゲームをする
- ・一人で1分間, 連続してパスした回数を試す
- ・ペアの友だちが回数を数える

自分のできる, できないを知る省察
(1時間目: 試しのゲーム)



自分のできる, できないを知る省察
(1時間目: 試しのゲーム)



(2) 重点2に関わる手立てと子どもの姿

手立て2:タスクゲームや確かめのゲームを通しての省察

- ・毎時間、知識・技能を高めるためにタスクゲーム・確かめのゲームを行う
- ・個人やグループで **こつ** を見付けて、全体で共有する
- ・**こつ** を意識した練習の後に、それができるようになった、まだできていないか、新たな課題は何かを省察する

1単位時間中の省察 (3時間目:全体での振り返り)



(2) 重点2に関わる手立てと子どもの姿

手立て3:教師や友達のモデルを通しての省察

- ・タスクゲームや確かめのゲーム中の様子の観察から, 子どもにとって難しい動きや技能の習得のヒントとなる動きを見付ける
- ・上手にできている子どもや教師の演示によるモデリングを行う
- ・演示の動きを見ることで, 新たな **こつ** を見付ける

手立て3:教師や友達のモデルを通しての省察

教師:最初に比べて, どうして余裕があるの?

A児:上に(ボールを)出している

A児:スピードもゆっくり(だから)

(2) 重点2に関わる手立てと子どもの姿

手立て4: 仲間との相互評価を通しての省察

- ・ゲーム大会では, 兄弟グループで交代してゲームを行う
- ・見ているグループは, 連続の回数と作戦ができているかをチェックする
- ・ゲームが終わった後, 作戦や動き方についてアドバイスする

手立て4: 仲間との相互評価を通しての省察

A児: 山なり, 気を付けて



B児: 力加減

手立て4: 仲間との相互評価を通しての省察

B児: 力加減, 直した方がいいよ

C児: 下から, こうしたほうが...(身振りを交えて)



手立て4: 仲間との相互評価を通しての省察

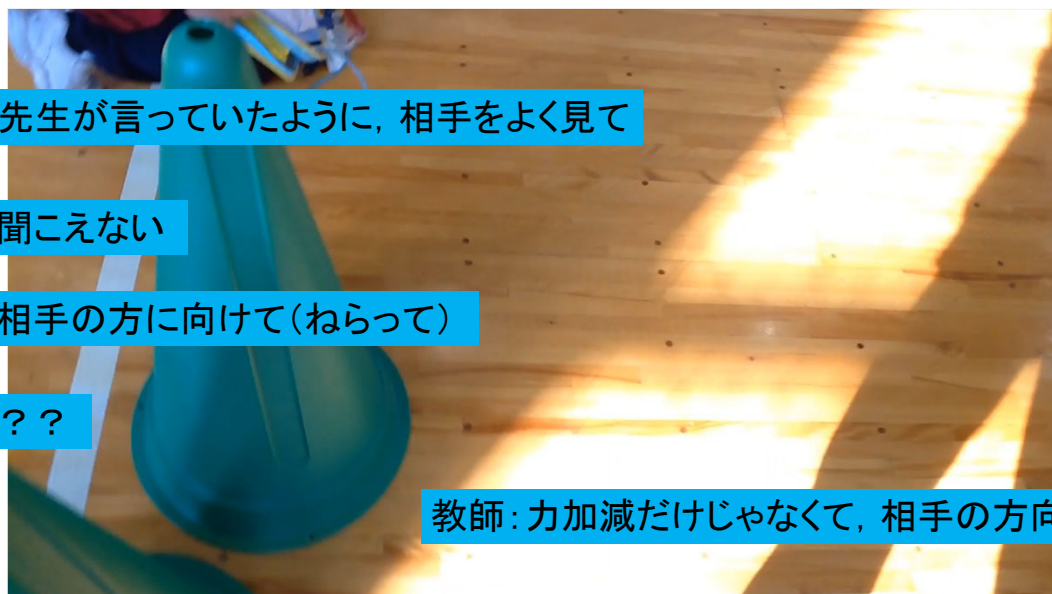
D児: 先生が言っていたように, 相手をよく見て

A児: 聞こえない

E児: 相手の方に向けて(ねらって)

A児: ??

教師: 力加減だけじゃなくて, 相手の方向も...



(3) 重点2に関わる手立てと子どもの姿

パスをつなぐために一人一人がどの位置にいたらいいか

(5時間目 配置の確かめゲーム)



(3) 重点2に関わる手立てと子どもの姿

3回目のパスをネットの近くで行うためには

(7時間目 課題に対する動きやその練習方法の選択)



自身の変容を振り返る

ソフトバレーボールの学習を終えて(上手になったこと、楽しかったこと、来年がんばりたいことなど)

今までの学習で自分から「やったこと」を友達といっしょに相談したり、相手チームからアドバイスしてもらったりして、知れずのよからず。今日は自分で、しっかりと作戦を立てることもできたので、友達とのコミュニケーションもとれ、仲が深まったと思いました。

練習や作戦を立てることでコミュニケーションがとれ、仲が深まった。

ソフトバレーボールの学習を終えて(上手になったこと、楽しかったこと、来年がんばりたいことなど)

初めはラリーミスが全試合連続試合というくらい遊んでしまっていたが、ラリーのツツポジションなど各役回をいくうちにボールを落したり、アウトになったり...というミスが目に見えて減っていった。5年生で覚えたことを6年生でも活かせるようにしたい。

こつや動きを考えていくうちにミスが減っていった。

ソフトバレーボールの学習を終えて(上手になったこと、楽しかったこと、来年がんばりたいことなど)

サーブで回転をかけたりするのがうまくなりました。また、ラリーがつかえたり、練習がいかせたときのしかったです。来年は、キャッチなど一度目のうごきやうり返すのをがんばりたいです。

練習を生かしたときが楽しい。

ソフトバレーボールの学習を終えて(上手になったこと、楽しかったこと、来年がんばりたいことなど)

自分でどんな風にやったら上手にできるか、どんな風にやったらツツをつかむやすいかなど、自分で自分のことを考えて意識するようにすればうまくなるとツツをつかむのが上手になったと思う。ソフトバレーボールにかぎらず、いろいろなことに生かすことができると思うから来年もこのことを心がけたいと思う。

こつをつかむのが上手になった。

成果と課題

成果

- ・動きのこつに着目し，課題解決に向けた作戦（こつ・戦術）を選択・決定する学習過程の有効性。
- ・できるや次の課題の発見につながる，結果や記録を基にしたり，仲間との対話を通したりする客観的に行う省察。

成果と課題

成果

- 低学年：数値や得点・回数などの具体物する省察
- 中学年：仲間や教師などのモデルからの省察
- 高学年：他者になぜできるかを説明するなどして概念化する省察

成果と課題

課題

- ・選ぶ作戦(こつ・戦術)の提示の在り方や教師の支援。
- ・次の学年で行う省察方法の取り入れ方。